

PEM036-P04

会場:コンベンションホール

時間: 5月25日17:15-18:45

CAWSES2における大気圏・電離圏シミュレーション研究

Simulation studies for CAWSES2 Program with Atmosphere-Ionosphere Coupled Model

藤原 均^{1*}, 三好 勉信², 陣 英克³, 品川 裕之³, 寺田 香織¹

Hitoshi Fujiwara^{1*}, Yasunobu Miyoshi², Hidekatsu Jin³, Hiroyuki Shinagawa³, Kaori Terada¹

¹東北大学大学院理学研究科, ²九州大学大学院理学研究院, ³情報通信研究機構

¹Tohoku University, ²Kyushu University, ³NICT

SCOSTEPが推進する太陽地球系科学に関する国際協同研究プログラムとしてCAWSES-II (Climate And Weather of the Sun-Earth System - II)

Towards Solar Maximumがスタートしている。CAWSES2プログラムの4つの

タスクグループ(TG): TG1.太陽活動の気候変動への影響、TG2.気候変動に

対するジオスペースの応答、TG3.太陽の短期変化がジオスペース環境に与

える影響、TG4.下層大気からの入力に対するジオスペースの応答、のすべ

てにおいて、複雑な要因が重なり合っ生じる現象(物理機構)の理解において、

数値シミュレーション研究は極めて重要な役割を担うものと考えられる。

特に、大気圏・電離圏モデルは、近年注目されるようになってきた下層大気

が電離圏に及ぼす影響を調べる上で不可欠の研究ツールとなりつつある。

本発表では、九州大学、情報通信研究機構、東北大学が共同で開発・シミュ

レーションを行っている大気圏・電離圏モデル(これまでの成果や現在のポテン

シャル)について紹介するとともに、CAWSES2プログラムの様々な研究課題に

対し、大気圏・電離圏シミュレーションがチャレンジ可能な課題、またCAWSES2

プログラムを通しての大気圏・電離圏モデルの発展の可能性について述べる

予定である。

キーワード:シミュレーション,太陽活動,気候変動,ジオスペース,超高層大気,電離圏

Keywords: simulation, solar activity, climate change, geospace, upper atmosphere, ionosphere